

表2.3.2.1(A) 鋼製ボイラー (性能点検)

点検項目	点検内容	備考
1.基礎・固定部	① き裂、沈下等の有無を点検する。 ② ボルトの緩みの有無を点検する。	性能検査については機器の停止・復旧に伴う補助業務に限る。
2.外観の状況		
a.本体	腐食、損傷等の有無を点検する。	
b.保温材	脱落、損傷等の有無を点検する。	
c.管台・付属品取付け部	① 蒸気又は水の漏れ及びボルトの緩みの有無を点検する。 ② 曲り、損傷等の有無を点検する。	
3.内部の状況		
a.蒸気又は水側部 【マンホール、検査穴及び掃除穴】	① 開放のうえ、ふた板の内面及びガスケットの当り面を清掃する。 ② 蒸気又は水の漏れ及び腐食、損傷等の有無を点検する。 ③ ボルトの緩み、損傷等の有無を点検する。	
b.ガス側部		
イ. 炉筒、火室、管板、ドラム及び管寄せ	① すず、未燃物等の付着物の有無を点検する。 ② 過熱の異常及び漏れ、変形、割れ等の有無を点検する。	
ロ. 煙管、管ステー、煙突管、水管及び降水管	① すず、未燃物等の付着物の有無を点検する。 ② 管壁面の過熱、変色、変形、腐食等の有無を点検する。 ③ 管取付け部の漏れ、詰まり、割れ等の有無を点検する。	
ハ. 燃烧室、バーナータイル、仕切壁、煙室内の耐火材及び断熱材	① すず、カーボン等の付着物の有無を点検する。 ② き裂及び脱落の有無を点検する。	
ニ. 煙室扉、爆発扉、点検口扉及び掃除口扉	扉の腐食、焼損、内張り断熱材及び耐火材の脱落、締付けボルトの焼損等の有無を点検する。	
4.付属品		
a.水面計	① 弁又はコックの目詰まり、漏れ、腐食、損傷等の有無を点検する。 ② 弁又はコックの開閉の良否を点検する。	
b.水面計取付け水柱管・水位検出用連絡管	腐食、詰まり及び蒸気又は水の漏れの有無を点検する。	
c.圧力計・水高計・温度計	① 指針が大気圧の下でゼロ点を指示することを確認する。 ② 損傷等の有無を点検する。 ③ 導圧口、導圧管、サイホン管、コック等の詰まりの有無を点検する。 ④ 温度計の感温部の腐食及び損傷の有無を点検する。	
5.主バーナー・パイロットバーナー	① 炎口部を清掃する。 ② エアノズル、燃烧筒、バーナータイルの焼損及び変形の有無を点検する。 ③ 油ノズル、カップ又はガスノズルを清掃し、損傷等の有無を点検する。 ④ 燃料管及び調節弁の損傷、燃料漏れ及び詰まりの有無を点検する。 ⑤ 空気ダンパーの汚れ、損傷等の有無及び作動の良否を点検する。 ⑥ 燃烧量調節リンク機構のジョイント及びセットボルトの緩み、摩耗及びセット位置のずれの有無を点検する。	
6.自動制御装置		
a.電極式水位検出器	① 連絡配管の詰まり、腐食等の有無を点検する。 ② 連絡配管接続部及び弁の漏れの有無を点検する。	

b.フロート式水位検出器	フロートのき裂、ベローズの破損、水銀スイッチの損傷等の有無を点検する。	
c.差圧式水位発信器	導圧管、接続弁及びドレンポットの詰まり、漏れ、腐食、損傷等の有無を点検する。	
d.火炎検出器	① 火炎検出器を取外して検出部の汚れ、焼損、き裂等の有無を点検する。 ② 検出部の装着及び接触の良否を点検する。	
e.燃料遮断弁	① 油燃料遮断弁は、バーナーの燃料停止時に、バーナーノズルからの油の滴下量が規定値以下であることを確認する。 ② ガス遮断弁は、バーナーの燃料停止時に、「ガスボイラ燃焼設備の安全技術指標」((社)日本ガス協会)によりガスの漏れ量が規定値以下であることを確認する。 ③ 弁及び配管との接続部の漏れの有無を点検する。	
g.蒸気圧力スイッチ・比例圧力調節器	① 導圧管接続口の詰まり及びベローズのき裂の有無を点検する。 ② 導圧管及び接続弁の詰まり、漏れ、腐食、損傷等の有無を点検する。	
h.温水温度調節器	① 感温部を取外しのうエスケール、さび等の付着及び損傷の有無を点検する。 ② 膨張液導管の折損及び液漏れの有無を点検する。	
i.ばい煙濃度計	① 投光器並びに受光器のフィルターガラス及びレンズを清掃し、損傷の有無を点検する。 ② 光軸のずれの有無の点検及び指示計のゼロ点調整を行う。	
7.給水装置		
a.給水タンク	① 本体の腐食、割れ及び水漏れの有無を点検する。 ② 水面計、水取出口及び弁の詰まりの有無を点検する。	
b.給水軟化装置	① 樹脂塔内部を清掃し、腐食、損傷及び水漏れの有無を点検する。 ② ロータリーバルブの摩耗及びシートの破損並びにずれの有無を点検する。	

表2.3.2.1(B) 鋼製ボイラー・鋼製簡易ボイラー(月例点検)

点検項目	点検内容	備考
1.基礎・固定部	取付け状態を点検する	
2.外観の状況		
a.本体	① 蒸気又は水及び燃焼ガスの漏れの有無を点検する。 ② 腐食、損傷等の有無を点検する。	
b.保温材	脱落、損傷等の有無を点検する。	
c.管台・付属品取付け部	① 蒸気又は水の漏れ及びボルトの緩みの有無を点検する。 ② 曲り、損傷等の有無を点検する。	
3.内部の状況		
a.ドラム・鏡板・管寄せ・炉筒・火室	覗き窓、焚口等から燃焼異常、変形、腐食、損傷、すすの付着等並びに蒸気又は水の漏れの有無を点検する。	
b.水管・煙管	覗き窓、焚口、煙室等から局部過熱の変色、膨出、曲り、損傷、すすの付着等並びに蒸気又は水の漏れの有無を点検する。	
c.燃焼室炉壁・バーナータイルの耐火材	焼損、き裂、脱落等の劣化及びカーボンの付着の有無を点検する。	
d.煙道・煙突	① 局部過熱による変色、割れ、腐食等の有無を点検する。 ② 排ガスの漏れの有無を点検する。	
4.付属品		

a.安全弁・逃し弁	① 取付けボルトの緩みの有無を点検する。 ② 漏れの有無を点検する。
b.安全弁用排気管	固定の良否並びに詰まり及び腐食の有無を点検する。
c.吹出し弁・吹出し管	① 弁越し、詰まり及びフランジ部の漏れの有無を点検する。 ② 腐食の有無を点検する。
d.水面計	① コック及び弁の詰まり、漏れの有無並びに開閉の良否を点検する。 ② ガラスの汚れ及びき裂の有無を点検する。
e.連絡管・元弁	① 管及び弁接続部の漏れの有無を点検する。 ② 水面計及び検出器下部の排水弁を開き、管内の詰まりの有無を点検する。
f.圧力計・水高計・温度計	① 正常値を指示していることを確認する。 ② 取付け部等の漏れの有無を点検する。 ③ 汚れ及び損傷の有無を点検する。
5.燃焼装置	
a.主バーナー	① 炎口部に付着したすす、カーボン、未燃物等の汚れを清掃する。 ② 燃料ノズル、ディフューザー、エアノズル、燃焼筒及びバーナータイルの焼損、変形、割れ等の有無を点検する。 ③ 管、調節弁等の燃料系統の部品の損傷及び漏れの有無を点検する。 ④ ロータリーバーナー又はガンタイプバーナーは、回転部の異常振動、異常音及び発熱の異常の有無並びに電動機の絶縁の良否を点検する。 ⑤ ロータリーバーナーは、ベルト及びプーリの劣化、緩み及び芯狂いの有無を点検する。 ⑥ 直接点火のバーナーは、点火トランス、電極棒、高圧リード線の焼損等及び絶縁碍子のき裂の有無並びに絶縁の良否を点検する。
b.パイロットバーナー	① 炎口部に付着したすす及び未燃物による汚れを清掃し、焼損及び変形の有無を点検する。 ② 燃料管の損傷、漏れ及び詰まりの有無を点検する。 ③ 点火トランス、点火電極棒、高圧リード線の損傷等及び絶縁碍子のき裂の有無並びに絶縁の良否を点検する。
c.燃焼量調節リンク	① レバー及び連結棒の曲り、折損並びに接合ジョイントの損傷等の有無を点検する。 ② セットボルトの緩み及びセット位置のずれの有無を点検する。
d.ストレーナー	① 漏れの有無を点検する。 ② 分解清掃し、ネットの破損等の有無を点検する。
6.自動制御装置	
a.制御盤	① 盤内機器の接点の焼損及び過熱、異臭、腐食等の有無並びにスパーク発生の有無を点検する。 ② 端子部の汚れ、緩み、変色、焼損等の有無を点検する。 ③ 表示等の点灯及び警報器の発鳴の良否を点検する。 ④ ボイラー運転時の盤内部の温度の適否及び結露の有無を点検する。 ⑤ 電源電圧を測定し、その良否を確認する。 ⑥ 動力及び制御回路の盤内・外配線の絶縁抵抗を測定し、その良否を確認する。
b.水位検出器	① 連絡管及び元弁の詰まり並びに配管接続部の蒸気又は水漏れの有無を点検する。 ② 電線接続端子のほこり、水分及びさびによる汚れの付着並びにねじの緩みの有無を点検する。 ③ スイッチ部の焼損等の有無及び接触の良否を点検する。 ④ 水銀スイッチの水銀の飛散及びガラスのき裂の有無を点検する。 ⑤ フロート式のものは、ベローズ部のき裂及び破損の有無を点検する。 ⑥ 給水調節弁の作動の良否を点検する。

c.火炎検出器	① 火炎検出器を取外して検出部の汚れ、焼損、き裂等の有無を点検する。 ② 検出部の装着及び接触の良否を点検する。
d.主安全制御器	① 過熱、異臭及び変色の有無を点検する。 ② 配線接続端子部のねじの緩み、汚れ、焼損及び変色の有無を点検する。
e.燃料遮断弁	① 油燃料遮断弁は、バーナーの燃料停止時に、バーナーノズルからの油の滴下量が規定値以下であることを確認する。 ② ガス遮断弁は、バーナーの燃料停止時に、「ガスボイラ燃焼設備の安全技術指標」((社)日本ガス協会)によりガスの漏れ量が規定値以下であることを確認する。 ③ 弁及び配管との接続部の漏れの有無を点検する。 ④ アクチュエーター部又はコイル部の過熱、異臭、異常音及び異常振動の有無を点検する。 ⑤ 液動遮断弁は、充填油の量の適否を点検する。
f.蒸気圧力又は温水温度制限器	① 配線接続端子部のねじの緩み、汚れ、焼損及び変色の有無を点検する。 ② スイッチ部の焼損の有無及び接触の良否を点検する。 ③ 水銀スイッチの水銀の飛散及びガラスのき裂等の有無を点検する。 ④ マイクロスイッチのねじの緩み及びレバーの曲りの有無並びに取付け状態の良否を点検する。 ⑤ 圧力制限器は、導圧配管の蒸気又は水の漏れ並びにベローズ部のき裂の有無を点検する。 ⑥ 温度制限器は、導管の潰れ、折損及び液漏れの有無を点検する。
g.比例圧力又は比例温度調節器	① 配線接続端子部のねじの緩み、汚れ、焼損及び変色の有無を点検する。 ② ワイパー及びびしゅう動面の汚れ及び摩耗の有無並びに接触の良否及び断線の有無を点検する。 ③ 圧力調節器は、導圧配管の蒸気又は水の漏れ及びベローズ部のき裂の有無を点検する。 ④ 温度調節器は、導管の潰れ、折損及び液漏れの有無を点検する。
h.コントロールモーター	① 配線接続端子部のねじの緩み、汚れ、焼損及び変色の有無を点検する。 ② バランシングリレーの接点の焼損、溶着等の有無を点検する。 ③ 補助スイッチのカム固定ねじの緩み、レバーの曲り、作動位置のずれ及びマイクロスイッチの焼損の有無を点検する。 ④ 低燃焼及び高燃焼時の燃料弁及び空気ダンパーの開度位置の良否を点検する。
i.ばい煙濃度計	① 投光器、受光器のフィルターガラス及びレンズの汚れの有無を点検する。 ② 投光器及び受光器のページ用ファンの作動の良否を点検する。 ③ 光軸のずれの有無の点検及び指示計のゼロ点調整を行う。
7.給水装置	
a.給水タンク	① タンク本体の水漏れ、内外面の腐食及び内部の沈殿物の有無を点検する。 ② 配管の水漏れ及び腐食の有無を点検する。 ③ 水面計の詰まりの有無及び指示の良否を点検する。 ④ 水位調節器の作動の良否を点検する。
b.給水軟化装置	① 樹脂の量の適否並びに汚れ、劣化及び硬度リークの有無を点検する。 ② 樹脂塔、配管の水漏れ及びストレーナーの詰まりの有無を点検する。 ③ ロータリーバルブの摩耗等の有無及び作動の良否を点検する。 ④ 薬液溶解槽の塩水の漏れ及び塩水バルブの固着の有無を点検する。
8.運転調整	
a.バーナーの自動発停	蒸気圧力又は温水温度の上昇及び下降時におけるバーナーの発停状態を点検し、当該圧力又は温度が規定の許容範囲内にあることを確認する。

b.水位制御	ON—OFF水位制御装置は、ボイラー水位の低下及び上昇時における給水ポンプの発停状態を点検し、当該ボイラー水位が規定の許容範囲内にあることを確認する。	
c.低水位遮断又は警報	ボイラー運転時に吹出し弁を開き、ボイラー水位を徐々に低下させ、規定の水位まで低下したとき、1段目の低水位遮断装置が作動してバーナーの燃焼が遮断し、警報が鳴ることを確認する。更に、水位を低下させ、安全低水面に近付いたとき2段目の低水位遮断装置が作動することを制御盤内のリレーの作動状態等により確認する。	
d.起動時間・停止時間	① ボイラー起動時のプレパージ時間、点火スパーク時間、パイロットオンリー時間及び主バーナー着火時間を測定し、その良否を確認する。 ② ボイラー停止時のポストパージ時間を測定し、その良否を確認する。	
e.バーナー消炎遮断	① ボイラー運転時に火炎検出器を遮断したとき、安全遮断弁が閉止してバーナーの燃焼が停止することを確認する。また、火炎検出器を遮断してから安全遮断弁が全閉になるまでの時間を測定し、その時間が規定時間以下にあることを確認する。 ② バーナーの燃焼停止後警報器が鳴り、制御盤の異常表示灯が点灯することを確認する。	
f.火炎検出器 【ガス燃料に限る】	パイロットバーナーのみの点火時及びメインバーナー燃焼中の火炎電流をマイクロアンメーターで測定し、その値が規定値以上であることを確認する。	
g.バーナーの燃焼状態	バーナーの最大燃焼時と最小燃焼時の燃料の流量、供給圧力及び戻り圧力、燃料弁開度、ダンパー開度等を測定し、その値が規定の許容範囲内にあることを確認する。	
9.給水及びボイラーの水質	第7節「水質管理」による。	

表2.3.3.1(A) チリングユニット(シーズンイン・オフ点検)

点検項目	点検内容	周期	備考
1.基礎・固定部	① き裂、沈下等の有無を点検する。 ② 固定金具の劣化及び固定ボルトの緩みの有無を点検する。 ③ 防振材、ストッパー等の劣化及び緩みの有無を点検する。	IN,OFF IN,OFF IN,OFF	
2.外観の状況			
a.本体	腐食、変形、破損等の有無を点検する。	IN,OFF	
b.保冷材	損傷及び脱落の有無を点検する。	IN,OFF	
3.冷水及び冷却水系統	① 漏れの有無を点検する。 ② 弁の開閉の良否を点検する。	IN IN	
4.運転調整			
a.音・振動	異常のないことを確認する。	IN	
b.電源電圧・電流	① 運転時における主電源電圧の変動が、規定値内にあることを確認する。 ② 主電流、圧縮機電流及び送風機電流が規定値以下にあることを確認する。	IN IN	
c.冷凍機油	油圧、温度等を計測し、その値が許容範囲内にあることを確認する。	IN	
d.熱交換状況	冷媒、冷却水及び冷水の温度等を点検し、熱交換状況が正常であることを確認する。	IN	

表2.3.3.1(B) チリングユニット(シーズンオン点検)

点検項目	点検内容	備考
1.基礎・固定部	取付け状態を点検する	
2.外観の状況		
a.本体	腐食、変形、破損等の有無を点検する。	
b.保冷材	損傷及び脱落の有無を点検する。	
4.付属品		
温度計・圧力計	① 正常値を指示していることを確認する。 ② 取付け部等の漏れの有無を点検する。 ③ 汚れ及び損傷の有無を点検する。	
3.電気系統		
a.端子	緩み、変色及び破損の有無を点検する。	
b.操作盤	盤内の汚れ、異物の付着、緩み及び変形の有無を点検する。	
c.クランクケースヒータ	通電及び発熱状態に異常のないことを確認する。	
4.冷媒系統	① ガス漏れの有無を点検する。 ② 設定値で作動することを確認する。	
5.運転調整		
b.電源電圧・電流	① 運転時における主電源電圧の変動が、規定値内にあることを確認する。 ② 主電流及び圧縮機電流が、規定値以下にあることを確認する。	
c.冷媒ガス	高圧側及び低圧側の圧力、温度等を測定し、その値が許容範囲内にあることを確認する。	
d.冷凍機油	油圧、温度等を測定し、その値が許容範囲内にあることを確認する。	
e.熱交換状況	冷媒、冷却水及び冷水の温度等を点検し、熱交換状況が正常であることを確認する。	
f.自動制御	温度、圧力、容量及びタイマー制御が設定値で作動することを確認する。	

表2.3.3.3 吸収冷凍機(シーズンイン・オン・オフ点検)

点検項目	点検内容	周期	備考
1.基礎・固定部	① き裂、沈下等の有無を点検する。 ② 固定金具の劣化及び固定ボルトの緩みを点検する。 ③ 取付け状態を点検する。	IN,OFF IN,OFF ON	
2.外観の状況			
a.本体	腐食、変形、破損等の有無を点検する。	IN,ON,OFF	
b.保温材・保冷材	損傷及び脱落の有無を点検する。	IN,OFF	
3.付属品			
a.温度計・圧力計	① 正常値を指示していることを確認する。 ② 取付け部等の漏れの有無を点検する。 ③ 汚れ及び損傷の有無を点検する。	IN,OFF IN,OFF IN,OFF	
4.気密確認	機内圧力が規定値以内であることを確認する。	IN	
5.電気系統			
a.操作回路・電動機回路【密閉ポンプ、抽気ポンプ】	絶縁抵抗を測定し、その良否を確認する。	IN,OFF	・30V未満の回路は除く。

b.端子	緩み、変色及び破損の有無を点検する。	IN,OFF	
6.運転調整			
a.音・振動	異常のないことを確認する。		
b.電流・電圧	① 運転時における主電源電圧の変動が、規定値内にあることを確認する。	IN,ON	
	② 運転電流が規定値以下にあることを確認する。	IN,ON	
c.電動機	電動機の回転方向が正しいことを確認する。	IN,ON	
d.自動制御	蒸気調整弁が設定温度で段階的に作動することを確認する。	IN	
e.熱源	① 供給蒸気の1次圧力が規定の許容範囲内にあることを確認する。	IN,ON	
	② 非通電時に、蒸気制御弁にリークのないことを確認する。	IN,ON	
f.熱交換器	① 冷水及び冷却水の入口温度及び出口温度、溶液温度、溶液濃度、凝縮温度、蒸発温度等を測定し、その値が許容範囲内にあることを確認する。	IN,ON	
	② 不凝縮ガスの混入及び冷却管の汚れの有無を点検する。	IN,ON	
7.真空气密			
a.抽気ポンプ	① 起動時に固着及び異常音がなく、抽気能力に異常のないことを確認する。	IN,ON,OFF	
b.抽気系統	抽気用弁を手動で全開にし、真空計の変化から開通していることを確認する。	IN,ON,OFF	
c.パラジウムセルユニット	パラジウムセル部の焼損及び劣化の有無を点検する。	IN,ON,OFF	
d.リーク試験	抽気ポンプで機内に不凝縮ガスのないことを確認する。	IN,ON,OFF	
e.真空引き	抽気ポンプを用いて機内を所定の圧力まで抽気する。	IN	
8.保存			
a.真空系統	機内真空部を所定の圧力まで下げ窒素ガスを封入して大気圧力以上に加圧し、保存する。	OFF	
b.冷水及び冷却水系統	満水又は乾燥のうえ保存する。満水保存の場合は、さび止め剤を規定の濃度まで注入する。	OFF	
c.溶液稀釈	冷媒液は全て溶液に混入させ、稀釈されていることを確認する。	OFF	

表2.3.3.4(A) パッケージ形空気調和機(シーズンイン・オフ点検)

点検項目	点検内容	周期	備考
1.基礎・固定部	① き裂、沈下等の異常の有無を点検する。 IN,OFF ② 固定金具の劣化及び固定ボルトの緩みを点検する。 IN,OFF ③ 防振材、ストッパー等の劣化及び緩みの有無を点検する。	IN,OFF IN,OFF IN,OFF	
2.外観の状況	腐食、変形、破損等の有無を点検する。	IN,OFF	
3.水系統			
a.加湿用給水・冷却水	① 弁の開閉を確認する。 ② 漏れ及び汚れのないことを確認する。	IN IN	
b.ドレンパン	汚れ、さび、腐食等の有無を点検する。	IN,OFF	

c.ドレン排水	本体のドレン排水確認を行い、支障のないことを確認する。	IN
4.電気系統		
a.操作回路・動力回路	絶縁抵抗を測定し、その良否を確認する。	IN
b.端子	緩み及び変色の有無を点検する。	IN
c.操作盤	盤内の汚れ、異物の付着、緩み及び変形の有無を確認する。	IN
d.クランクケースヒータ	通電、発熱状態の異常のないことを点検する。	IN,OFF
5.送風機		
【室外機を含む】		
a.Vベルト	緩み、き裂、摩耗等の有無を点検する。	IN,OFF
b.軸受	異常音、異常振動等の有無を点検する。	IN,OFF
c.羽根車	汚れ、損傷等の有無を点検する。	IN,OFF
d.電動機	回転方向が正しいことを確認する。	IN
6.エアフィルター		
a.ろ材	詰まり、損傷等の有無を点検する。	IN,OFF
b.枠	変形、腐食等の有無を点検する。	IN,OFF
7.冷媒系統	① ガス漏れの有無を点検する。 ② 配管の損傷等の有無を点検する。	IN,OFF IN,OFF
8.熱交換器	① フィンコイル及び凝縮器の汚れ、損傷等の有無を点検する。 ② 補助ヒーターの汚れ、損傷等の有無を点検する。	IN,OFF IN
9.加湿器	① 作動の良否を点検する。 ② 汚れ、損傷等の有無を点検する。	IN,OFF IN,OFF
10.保安装置		IN
a.圧力開閉器	作動の良否を確認する。	IN
b.可溶栓又は安全弁	ガス漏れ、変形等の有無を確認する。	IN,OFF
c.温度ヒューズ	溶断、変形及び変色の有無を点検する。	IN
d.過熱防止器	作動の良否を確認する。	IN
e.圧力計	指示値が正常であることを確認する。	IN,OFF
11.自動制御機器	温度調節器、湿度調節器、タイマー制御、圧力制御及び容量制御が設定値で作動することを確認する。	IN
12.運転調整		
a.音・振動	異常のないことを確認する。	IN,OFF
b.電源電圧	① 供給電源電圧に異常のないことを確認する。 ② 運転時における電圧変動が規定値内にあることを確認する。	IN IN
c.運転電流	① 主電流及び圧縮機電流が定格以下にあることを確認する。 ② 送風機及び加湿器の電流に異常がないことを確認する。 ③ 電気ヒーターの電流が定格値にあることを確認する。	IN IN IN

d.冷凍機油	汚損、劣化及び油量の適否を点検する。	IN	
e.熱交換状況	① 水冷式の場合は、冷媒、冷却水、温水、吹出し空気温度を点検し、熱交換状況が正常であることを確認する。 ② 空冷式の場合は、冷媒、室外機及び室内機の吹出し空気温度を点検し、熱交換状況が正常であることを確認する。	IN IN	

表2.3.3.4(B) パッケージ形空気調和機(シーズンオン点検)

点検項目	点検内容	備考
1.水系統		
a.加湿用給水	漏れ及び汚れの有無を点検する。	
b.冷却水	水冷式の場合は、漏れ及び汚れの有無を点検する。	
c.ドレン排水	本体のドレン排水確認を行い、支障のないことを確認する。	
2.電気系統		
a.端子	緩み、変色及び破損の有無を点検する。	
b.操作盤	盤内の汚れ、異物の付着、緩み及び変形の有無を点検する。	
c.クランクケースヒータ	通電及び発熱状態に異常のないことを確認する。	
3.送風機		
a.Vベルト	緩み及び振動の有無を点検する。	
b.軸受	異常音、異常振動等の有無を点検する。	
4.エアフィルター		
a.ろ材	詰まり、損傷等の有無を点検する。	
b.枠	変形、腐食等の有無を点検する。	
5.冷媒系統	① ガス漏れの有無を点検する。 ② 配管の損傷等の有無を点検する。	
6.熱交換器	フィンコイル及び凝縮器の汚れ、損傷等の有無を点検する。	
7.加湿器	① 作動の良否を点検する。 ② 汚れ、損傷等の有無を点検する。	
8.自動制御機器	温度及び湿度が設定値にて制御していることを確認する。	
9.運転調整		
a.音・振動	異常のないことを確認する。	
b.電源電圧	供給電源電圧に異常のないことを確認する。	
c.運転電流	① 主電流及び圧縮機電流が定格以下にあることを確認する。 ② 送風機及び加湿器の電流が定格以下にあることを確認する。 ③ 電気ヒーターの電流が定格値にあることを確認する。	
d.冷凍機油	汚損、劣化等の有無及び油量の適否を点検する。	
e.熱交換状況	① 水冷式の場合は、冷媒、冷却水、温水、吹出し空気温度を点検し、熱交換状況が正常であることを確認する。 ② 空冷式の場合は、冷媒、室外機及び室内機の吹出し空気温度を点検し、熱交換状況が正常であることを確認する。	

表2.3.4.1(A) 地下式オイルタンク(月例点検)

点検項目	点検内容	備考
1.通気口	引火防止網の脱落、腐食及び目詰まりの有無を点検する。	
2.計量口・注油口	変形、損傷及び漏れの有無を点検し、蓋の閉鎖状態に異常のないことを確認する。	
3.注入口ピット	① 割れ、損傷、滞油、滞水及び土砂等の堆積物の有無を点検する。 ② 油種別表示板の汚れの有無を点検し、表示が明瞭であることを確認する。	
4.配管	損傷、変形、漏れ等の有無を点検する。	
5.弁	漏れ、損傷等の有無並びに作動の良否を点検する。	
6.配管点検ボックス	割れ、損傷、滞油、滞水及び土砂等の堆積物の有無を点検する。	
7.端子盤	箱の損傷及び端子の緩みの有無を点検する。	
8.接地	① 断線及び緩みの有無を点検する。 ② 接地抵抗を測定し、その良否を確認する。	
9.漏洩検査管	漏洩検査管を用いて、漏れの有無を点検する。	

表2.3.4.1(B) オイルサービスタンク

点検項目	点検内容	周期	備考
1.基礎・固定部	① 基礎及び防油堤のき裂及び損傷の有無を点検する。	1Y	
	② 架台の曲り、さび、損傷等の有無を点検する。	1Y	
	③ 基礎ボルト、取付けボルト、固定金具等の緩み、損傷等の有無を点検する。	1Y	
	④ 配管が正しく取付けられ、配管の荷重が接合部又は本体にかからないよう平均に負担していることを確認する。	1Y	
2.外観の状況	① 損傷、腐食等の有無を点検する。	1Y	
	② 漏れの有無を点検する。	1Y	
3.管・弁 a.管 b.弁	① 漏れ、損傷、腐食等の有無を点検する。	1Y	
	② 緩衝装置の取付け及び機能の良否を点検する。	1Y	
	作動の良否、損傷等の有無を点検する。	1Y	
4.計器	① 汚れ及び損傷の有無を点検する。	1Y	
	② 正常値を示していることを確認する。	1Y	
	③ 固定の良否を点検する。	1Y	
5.液面制御装置 【フロートスイッチ】	① フロートの浸水、損傷等の有無を点検する。	1Y	
	② フロートの上下によりポンプ及び警報の電源が入・切し、その位置が許容範囲内にあることを確認する。	1Y	
6.警報装置・電極スイッチ	① 電極棒の異物付着の有無及び侵食の状態を点検する。	1Y	
	② 作動の良否を点検する。	1Y	
7.通気口	取付けの良否を点検する。	1Y	
8.はしご・点検扉	取付けの良否及びさび、腐食等の有無を点検する。	1Y	
9.標識・掲示板	汚れの有無を点検し、表示が明瞭であることを確認する。	1Y	

表2.3.4.2 熱交換器・ヘッダー・密閉形隔膜式膨張タンク(月例点検)

点検項目	点検内容	備考
1.基礎・固定部	① 基礎のき裂、沈下等の有無を点検する。 ② 架台の曲り、さび、損傷等の有無を点検する。 ③ 基礎ボルト、取付けボルト、固定金具等の緩み、損傷等の有無を点検	

	する。 ④ 配管支持部の変形の有無を点検する。	
2.外観の状況	① 損傷、腐食等の有無を点検する。 ② 漏れの有無を点検する。 ③ 蓋の取付け状態の良否及びボルトの摩耗、腐食、損傷等の有無を点検する。 ④ 保温材の脱落、損傷等の有無を点検する。	
3.圧力計・水高計・温度計	① 正常値を指示していることを確認する。 ② 取付け部等の漏れの有無を点検する。 ③ 汚れ及び損傷の有無を点検する。	
4.付属管・弁		
a.逃し管	① 漏れ、汚れ、損傷、腐食等の有無を点検する。 ② 保温材の脱落、損傷等の有無を点検する。	
b.その他の管	漏れ、損傷、腐食等の有無を点検する。	
c.安全弁又は逃し弁	① 取付けボルトの緩みを点検する。 ② 漏れの有無を点検する。 ③ テストレバーのあるものは、作動テストをする。	
d.その他の弁	漏れ、損傷等の有無及び作動の良否を点検する。	

表2.3.4.3 還水タンク・開放形膨張タンク

点検項目	点検内容	周期	備考
1.基礎・固定部	① 基礎のき裂、沈下等の有無を点検する。 ② 架台の曲り、さび、損傷等の有無を点検する。 ③ 基礎ボルト、取付けボルト、固定金具等の緩み、損傷等の有無を点検する。 ④ 配管支持部の取付け状態が適正であることを確認する。	1Y 1Y 1Y 1Y	
2.外観の状況	① 損傷、腐食等の有無を点検する。 ② 漏れの有無を点検する。 ③ 保温材の脱落、損傷等の有無を点検する。	1Y 1Y 1Y	
3.内部の状況	① 付着物及び堆積物の有無を点検する。 ② 内部の保護塗装の剥離等の有無を点検する。	1Y 1Y	
4.管・弁			
a.管	漏れ、損傷、腐食等の有無を点検する。	1Y	
b.弁	漏れ、損傷等の有無及び作動の良否を点検する。	1Y	
4.付属品			
a.計器 【還水タンクに限る】	① 汚れ及び損傷の有無を点検する。 ② 正常値を指示していることを確認する。 ③ 固定の良否を点検する。	1Y 1Y 1Y	
d.はしご・点検扉	取付けの良否及びさび、腐食等の有無を点検する。	1Y	
5.液面制御装置			
a.ボールタップ	① フロートの浸水、損傷等の有無及び作動の良否を点検する。 ② 給水停止状態での漏水の有無及び水位の適否を点検する。	1Y 1Y	
b.フロートスイッチ 【還水タンクに限る】	① フロートの浸水、損傷等の有無を点検する。 ② フロートの上下により電源が入・切し、その位置が規定の許容範囲内にあることを確認する。	1Y 1Y	
c.電極スイッチ	① 電極棒に異物付着の有無及び侵食の状態を点検する。 ② 水位の上下により電源が入・切し、その位置が正常に作動することを確認する。	1Y 1Y	

表2.3.4.4(A) 冷却塔(シーズンイン・オフ点検)

点検項目	点検内容	周期	備考
1.基礎・固定部	① き裂、沈下等の有無を点検する。 ② 基礎ボルトの緩み及び劣化の有無を点検する。 ③ 防振装置の損傷等の有無を点検する。 ④ 防振ストッパーの緩み及び劣化の有無を点検する。	IN IN IN IN	
2.外観の状況			
a.本体	損傷、変形及び汚れの有無を点検する。	IN,OFF	
b.散水装置	① 損傷、変形、さび及び汚れの有無を点検する。 ② 散水穴の目詰まりの有無を点検する。 ③ 散水管の回転が円滑であることを確認する。	IN,OFF IN,OFF IN,OFF	
c.熱交換器 【密閉形に限る】	コイルの汚れ、損傷等の有無を点検する。	IN,OFF	
d.エリミネータ	損傷、変形及び目詰まりの有無を点検する。	IN,OFF	
e.ルーバ	損傷、変形及び目詰まりの有無を点検する。	IN,OFF	
f.充填材	① スケール等の付着の有無を点検する。 ② 目詰まりの有無を点検する。 ③ 座屈、変形等の有無を点検する。	IN,OFF IN,OFF IN,OFF	
g.架台	① 損傷、変形等の有無を点検する。 ② 固定金具の劣化及び組み立てボルトの緩みの有無を点検する。	IN,OFF IN,OFF	
h.梯子・点検扉	損傷、変形、腐食等の有無を点検する。	IN,OFF	
3.水槽			
a.本体	① 内外面の損傷、変形及び汚れの有無を点検する。 ② 水漏れの有無を点検する。 ③ 水位が規定の位置にあることを確認する。	IN,OFF IN,OFF IN	
b.給水装置	ボールタップ等が確実に作動することを確認する。	IN,OFF	
c.ストレーナー	目詰まり、損傷等の有無を点検する。	IN,OFF	
d.フレキシブルジョイント	接続部の緩み、腐食等の有無を点検する。	IN,OFF	
4.送風機			
a.羽根車	① 損傷、腐食、汚れ等の有無を点検する。 ② 回転に支障のないことを確認する。	IN,OFF IN,OFF	
b.ファンケーシング	損傷、腐食等の有無を点検する。	IN,OFF	
c.軸受	① 軸が円滑に回転することを確認する。 ② 油量の適否を点検する。	IN,OFF IN	
d.電動機	① 損傷、腐食等の有無を点検する。 ② 円滑に回転することを確認する。 ③ 絶縁抵抗を測定し、その良否を確認する。	IN IN,OFF IN	
e.ベルト	① 張り具合の適否を点検する。 ② 損傷及び摩耗の有無を点検する。	IN,OFF IN,OFF	
f.プーリ	損傷、摩擦等の有無を点検する。	IN,OFF	

5.散水ポンプ 【密閉形に限る】 a.本体	汚れ、損傷、腐食等の有無を点検する。	IN,OFF	
b.電動機	① 絶縁抵抗を測定し、その良否を確認する。 ② 回転方向が正しいことを確認する。 ③ 電流が定格値内であることを確認する。	IN IN IN	
6.凍結防止装置	① サーモスタットが設定値で作動することを確認する。 ② ヒーターの作動電流が定格電流以下にあることを確認する。 ③ ヒーターの絶縁抵抗を測定し、その良否を確認する。	IN IN IN	
7.運転調整	① 電動機の回転方向が正しいことを確認する。 ② 異常音及び異常振動のないことを確認する。 ③ 電源電圧の変動が規定値内にあることを確認する。 ④ 運転電流が定格値以下にあることを確認する。 ⑤ 散水管の回転数が許容範囲内にあることを確認する。 ⑥ 散水が均一に分散していることを確認する。 ⑦ 水槽の水位が運転前及び運転状態が適正であることを確認する。	IN IN IN IN IN IN IN	
8.シーズンオフ時の保存	器内の水を確実に抜いたうえ保存する。	OFF	

表2.3.4.4(B) 冷却塔(シーズンオン点検)

点検項目	点検内容	周期	備考
1.基礎・固定部	取付け状態を点検する。	ON	
2.外観の状況 a.本体	損傷、変形及び汚れの有無を点検する。	ON	
b.散水装置	① 損傷、変形、さび及び汚れの有無を点検する。 ② 散水穴の目詰まりの有無を点検する。 ③ 散水管の回転が円滑であることを確認する。	ON ON ON	
c.ルーバ	損傷、変形及び目詰まりの有無を点検する。	ON	
d.充填材	① スケール等の付着の有無を点検する。 ② 目詰まりの有無を点検する。 ③ 座屈、変形等の有無を点検する。	ON ON ON	
e.架台	① 損傷、変形、腐食等の有無を点検する。 ② 固定金具の劣化及び組み立てボルトの緩みを点検する。	ON ON	
f.水槽	① 内外面の損傷、変形及び汚れの有無を点検する。 ② 水漏れの有無を点検する。 ③ 水位が規定の位置にあることを確認する。	ON ON ON	
g.給水装置	ボールタップ等の作動の良否を点検する。	ON	
h.ストレーナー	目詰まり、損傷等の有無を点検する。	ON	
3.送風機 a.羽根車	① 損傷、腐食、汚れ等の有無を点検する。 ② 回転に支障のないことを確認する。	ON ON	
b.ファンケーシング	損傷、腐食等の有無を点検する。	ON	
c.軸受	① 軸が円滑に回転することを確認する。 ② 油量の適否を点検する。	ON ON	
d.電動機	異常音、異常振動等の有無を点検する。	ON	

e.ベルト	① 張り具合の適否を点検する。 ② 損傷及び摩耗の有無を点検する。	ON ON	
f.プーリ	損傷、摩擦等の有無を点検する。	ON	
4.散水ポンプ 【密閉形に限る】			
a.本体	異常振動の有無を点検する。	ON	
b.電動機	異常音、異常振動等の有無を点検する。	ON	
5.凍結防止装置	ヒーターの作動電流が定格電流以下にあることを確認する。	ON	
6.運転調整	① 電源電圧の変動が規定値内にあることを確認する。 ② 運転電流が定格値以下にあることを確認する。 ③ 散水管の回転数が許容範囲内にあることを確認する。 ④ 散水が均一に分散していることを確認する。	ON ON ON ON	

表2.3.4.5 ユニット形空調和機・コンパクト形空調和機(シーズンイン・オン点検)

点検項目	点検内容	周期	備考
1.基礎・固定部	① き裂、沈下等の有無を点検する。 ② 固定金具の劣化及び固定ボルトの緩みを点検する。 ③ 防振材、ストッパ等劣化及び緩みの有無を点検する。	IN IN IN	
2.外部の状況			
a.本体	腐食、変形、破損等の有無を点検する。	IN	
b.保温材・吸音材	損傷及び脱落の有無を点検する。	IN	
3.送風機			
a.羽根車	① 汚れ、さび、腐食等の有無を点検する。 ② 回転バランスの良否を点検する。	IN IN	
b.シャフト	汚れ、さび、摩耗等の有無を点検する。	IN	
c.ベルト	緩み、摩耗、損傷等の有無を点検する。	IN,ON	
d.プーリ	摩耗等の有無を点検する。	IN	
e.軸受	① 異常音、異常振動等の有無を点検する。 ② 給油の状態を点検する。	IN,ON IN,ON	
f.カップリング	摩耗、損傷等の有無を点検する。	IN	
g.電動機	① 絶縁抵抗を測定し、その良否を確認する。 ② 回転方向が正しいことを確認する。 ③ 表面温度の異常の有無を点検する。 ④ 電流が定格値内であることを確認する。	IN IN ON IN,ON	
4.熱交換器	冷温水コイル、蒸気コイル等の汚損、腐食、損傷等の有無を点検する。	IN	
5.加湿器	① 加湿ノズルの詰まりの有無を点検する。 ② 作動の良否を点検する。 ③ 汚れ、損傷等の有無を点検する。	IN,ON IN,ON ON	
6.エリミネータ	詰まり、腐食等の有無を点検する。	IN,ON	
7.水系統			
a.加湿用給水	① 給水止弁の開閉を点検する。	ON	

	② 漏れ及び汚れのないことを確認する。	ON	
b.ドレンパン	汚れ、さび、腐食等の有無を点検する。	IN,ON	
c.ドレン排水	本体のドレン排水確認を行い、詰まりのないことを確認する。	IN,ON	
8.エアフィルター 【プレフィルター】			
a.ろ材	詰まり、損傷等の有無を点検する。	IN,ON	
b.枠	変形、腐食等の有無を点検する。	IN,ON	
9.運転調整	① 運転時における電圧変動が規定値内であることを確認する。	IN	
	② 運転電流が定格以下であることを確認する。	IN	
	インバーター設置の場合は、単体運転にて電圧及び電圧及び電流値のバランス確認を行う。	IN	

表2.3.4.6 ファンコイルユニット(シーズンイン点検)

点検項目	点検内容	備考
1.外観の状況		
a.本体	① 腐食、変形、破損等の有無を点検する。 ② 固定金具、固定ボルトの緩み、変形、腐食等の有無を点検する。	
b.保温材・吸音材	損傷及び脱落の有無を点検する。	
c.吹出口	汚れ、破損等の有無を点検する。	
2.送風機		
a.羽根車	① 汚れ及びさび、腐食、変形等の有無を点検する。 ② 回転バランスの良否を点検する。	
b.電動機	① 異常音、異常振動等の有無を点検する。 ② 絶縁抵抗を測定し、その良否を確認する。 ③ 回転がスムーズであることを確認する。	
3.熱交換器	① 冷温水コイルの破損及び腐食の有無を点検する。 ② フィンの汚れ及び目詰まりの有無を点検する。	
4.排水系統		
a.ドレンパン	汚れ、さび、腐食等の有無を点検する。	
b.ドレン排水	本体のドレン排水確認を行い、詰まりのないことを確認する。	
5.エアフィルター		
a.ろ材	汚れ、損傷等の有無を点検する。	
b.枠	変形、腐食等の有無を点検する。	
6.電装部品		
a.電気配線	損傷、過熱等の有無を点検する。	
b.接続端子	端子接続の緩みの有無を点検する。	
c.操作スイッチ、運転表示灯	① 損傷、破損等の有無を点検する。 ② 表示灯の点灯状態を点検する。 ③ 風量切替え等の作動の良否を点検する。	
7.弁類	① 損傷及び破損の有無を点検する。 ② エア抜き弁及びドレン抜き弁の良否を点検する。	

表2.3.4.7 ポンプ

点検項目	点検内容	周期	備考
1.基礎・固定部	① 固定金具の劣化及び固定ボルトの緩みの有無を点検する。 ② 防振材、ストッパ等々の劣化及び緩みの有無を点検する。	6M 6M	
2.外観の状況	① 腐食、損傷及び漏洩の有無を点検する。 ② 軸継手ゴムの損傷等の有無を点検する。 ③ ベルトの損傷等の有無を点検する。 ④ 芯出しの良否を点検する。 ⑤ ポンプの吸込圧力及び吐出し圧力が許容範囲内にあることを確認する。 ⑥ 真空給水ポンプユニットの場合は、受水タンク内の真空度及び吐出し圧力が許容範囲内にあることを確認する。 ⑦ 軸封の漏水状態を点検する。	1M 6M 1M 1M 1M 1M	
3.電動機	① 電動機が外部より調査できる場合は、発熱の異常の有無を点検する。 ② 回転方向が正しいことを確認する。 ③ 絶縁抵抗を測定し、その良否を確認する。 ④ 運転電流が定格値以下であることを確認する。	1M 1Y 6M 1M	

表2.3.4.8 送風機

点検項目	点検内容	周期	備考
1.基礎・固定部	① き裂、沈下等の有無を点検する。 ② 固定金具の劣化及び固定ボルトの緩みを点検する。 ③ 防振材の破損等の有無を点検する。 ④ 天井吊りの場合の脱着防止、吊り支持等の金具の緩み及び腐食の有無を点検する。	6M 6M 6M 6M	
2.外観の状況	① 汚れの有無を点検する。 ② 腐食及びボルトの緩みの有無を点検する。	1M 1M	
3.電動機	① 電動機が外部より調査できる場合は、発熱の異常の有無を点検する。 ② 回転方向が正しいことを確認する。 ③ 絶縁抵抗を測定し、その良否を確認する。 ④ 運転電流が、定格値以下であることを確認する。	1M 1Y 6M 1M	
4.軸受	発熱、異常音及び異常振動の有無を点検する。	1M	
5.Vベルト	緩み、摩耗、損傷等の有無を点検する。	6M	・電動機直結形を除く。
6.Vベルトカバー	変形、損傷等の有無を点検する。	6M	・電動機直結形を除く。
7.Vプーリ	① 摩耗、損傷等の有無を点検する。 ② 芯出しの良否を点検する。	6M 6M	・電動機直結形を除く。 ・電動機直結形を除く。
8.羽根車	① 汚れ、変形、腐食等の有無を点検する。 ② ボルトの緩みの有無を点検する。 ③ ケーシング等に接触していないことを確認する。	6M 6M 6M	
9.運転調整	① 運転時における電圧変動が規定値内であることを確認する。 ② 運転電流が定格以下であることを確認する。	6M 6M	

表2.3.4.9 静止形全熱交換器 (2,000m³/h以上)

点検項目	点検内容	周期	備考
1.基礎・固定部	① き裂、沈下等の有無を点検する。 ② 固定金具の劣化及び固定ボルトの緩みを点検する。	1Y 1Y	
2.外観の状況 a.本体・点検口	さび、腐食、変形、破損等の有無を点検する。	1Y	

b.フィルター	詰まり、損傷等の有無を点検する。	1Y	
c.保温材	破損の有無を点検する。	1Y	
3.熱交換エレメント			
a.軸受	① 異常音、異常振動等の有無を点検する。	6M	
【回転形に限る】	② 給油の状態を点検する。	6M	
b.エレメント	① 詰まり、損傷等の有無を点検する。	6M	
	② 回転形の場合は、回転バランスの良否を点検する。	6M	
c.エアシール	回転形の場合は、異常摩耗、破損等の有無を点検する。	6M	
d.駆動装置	回転形の場合は、ベルト又はチェーンの緩み、損傷等の有無を点検する。	6M	
e.ケーシング	汚れ、さび、腐食等の有無を点検する。	1Y	
4.電気系統			
【回転形に限る】			
a.電源電圧	電圧の変動が規定値内にあることを確認する。	1Y	
b.電動機	① 絶縁抵抗を測定し、その良否を確認する。	1Y	
	② 表面温度の異常の有無を点検する。	1Y	
	③ 電流が定格値内であることを確認する。	1Y	
	④ オイルシールの油漏れの有無を点検する。		
c.リレー	作動の良否を点検する。	1Y	
d.端子類	緩み、変色、溶損等の有無を点検する。	1Y	

表2.3.5.1 受水タンク・高置タンク(高架タンク)

点検項目	点検内容	周期	備考
1.基礎・固定部	① き裂、沈下等の有無を点検する。	1Y	
	② 固定金具の劣化及び固定ボルトの緩みを点検する。	1Y	
	③ 架台のさび、腐食等の有無を点検する。	1Y	
	④ 架台のたわみ及び基礎部隙間の有無を点検する。	1Y	
	⑤ 基礎部の水平度、不等沈下等を確認する。	1Y	
2.外観の状況	① 水漏れ及び外面のさび、腐食、損傷等の有無を点検する。	1Y	
【外部ケーシング】	② 接合金具及び接合ボルトの緩み、腐食等の有無を点検する。	1Y	
	③ 内・外部補強材の緩み、変形及び内面の腐食、損傷等の有無を点検する。	1Y	
	④ マンホールの密閉状態及び施錠の良否を点検する。	1Y	
3.付属装置			
a.ボールタップ・定水位弁	① 浸水、変形、損傷等の有無及び作動の良否を点検する。	1Y	
	② 水の供給を停止したとき、水漏れ及び衝撃のないことを確認する。	1Y	
b.水面制御及び警報装置	① 汚れ、腐食、損傷等の有無を点検する。	1Y	
【フロートスイッチ、レベルスイッチ、電極棒】	② 水位電極部、パイロット管等の接続部の緩み及び腐食の有無を点検する。	1Y	
	③ 作動の良否を点検する。	1Y	
4.配管	① 変形、腐食、損傷等の有無を点検する。	1Y	
	② 防虫網の詰まり、腐食、損傷等の有無を点検する。	1Y	
	③ 配管支持の固定点の位置が適切か確認する。	1Y	
	④ フレキシブルジョイントにより、配管の振動又は揺れがタンク本体に伝播していないことを確認する。	1Y	

表2.3.5.5 汚水槽・雑排水槽

点検項目	点検内容	周期	備考
1.本体	① 内部の浮遊物及び沈殿物の状況を点検する。 ② 漏水及び壁面等の損傷、き裂、さび等の有無を点検する。 ③ マンホールの密閉状態の良否を点検する。	6M 6M 6M	
2.水面制御及び警報装置【フロートスイッチ、レベルスイッチ、電極棒】	① 損傷及び腐食の有無を点検する。 ② 作動の良否を点検する。	6M 6M	
3.配管	① 水漏れ及び詰まりの有無を点検する。 ② さび、腐食、損傷等の有無を点検する。 ③ 配管接続部の変形、腐食、損傷等の有無を点検する。 ④ 配管固定部の変形、腐食、損傷等の有無を点検する。 ⑤ 防虫網の目詰まり、さび、腐食、損傷等の有無を点検する。	6M 6M 6M 6M 6M	

表2.3.5.7(A) 陸上ポンプ

点検項目	点検内容	周期	備考
1.基礎・固定部	① 固定金具及び固定ボルトの緩み、変形、腐食等を点検する。 ② 防振装置の変形、劣化等の有無を点検する。	1M 1M	
2.外観の状況	① グランド漏れが正常であることを確認する。 ② シェルの結露水、グランド漏れ等の排水が排水管に流れていることを点検する。 ③ 腐食、損傷及び水漏れの有無を点検する。 ④ 軸継手ゴムの損傷等の有無を点検する。 ⑤ ベルトの損傷等の有無を点検する。 ⑥ 軸継手の芯出しの良否を点検する。 ⑦ ポンプの吸込圧力及び吐出し圧力が許容範囲内にあることを確認する。	1M 1M 1M 6M 1M 6M 1M	
3.電動機	① 電動機が外部より調査できる場合は、発熱の異常の有無を点検する。 ② 回転方向が正しいことを確認する。 ③ 絶縁抵抗を測定し、その良否を確認する。 ④ 運転電流が、定格値以下であることを確認する。	1M 1Y 1Y 1M	
4.圧力タンク 【小形給水ポンプユニットに限る】	① 腐食、損傷、水漏れ等の有無を点検する。 ② 封入ガスの圧力が規定値にあることを確認する。	6M 1M	
5.フート弁・逆止弁 【揚水ポンプ・給湯ポンプに限る】	開閉状態の良否を点検する。	1Y	
6.圧力計・連成計又は真空計	① 腐食及び損傷の有無を点検する。 ② 正常値を示していることを確認する。	1Y 1Y	
7.運転調整	① 運転時における電圧変動が規定値内であることを確認する。 ② 運転電流が定格以下であることを確認する。	1Y 1Y	

表2.3.5.7(B) 深井戸ポンプ

点検項目	点検内容	周期	備考
1.本体	① 締切圧力及び吐出し圧力が許容範囲内にあることを確認する。 ② 単位時間の揚水量を確認する。	6M 1M	
2.電動機	① 絶縁抵抗を測定し、その良否を確認する。 ② 運転電流が、定格値以下であることを確認する。	1Y 1M	
3.自動空気抜弁	① 水漏れの有無を点検する。 ② 空気が確実に抜けることを確認する。	6M 6M	

4.ケーブル	① 損傷等の有無を点検する。 ② 絶縁抵抗を測定し、その良否を確認する。	1Y 1Y	
5.連成計・圧力計	① 腐食、損傷等の有無を点検する。 ② 正常値を示していることを確認する。	1Y 1Y	
6.運転調整 【小形給水ポンプユニットに限る】	① 運転時における電圧変動が規定値内であることを確認する。 ② 運転電流が定格以下であることを確認する。	1Y 1Y	

表2.3.5.7(C) 排水ポンプ

点検項目	点検内容	周期Ⅱ	備考
1.本体・着脱装置・ガイド部	腐食、損傷等の有無を点検する。	1Y	
2.電動機	① 電動機が外部より調査できる場合は、発熱の異常の有無を点検する。 ② 回転方向が正しいことを確認する。 ③ 絶縁抵抗を測定し、その良否を確認する。 ④ 運転電流が、定格値以下であることを確認する。	1Y 1Y 1Y 6M	
3.ケーブル	① 損傷等の有無を点検する。 ② 絶縁抵抗を測定し、その良否を確認する。	1Y 1Y	
4.連成計又は圧力計	① 腐食、損傷等の有無を点検する。 ② 正常値を示していることを確認する。	1Y 1Y	
5.運転調整	① 運転時における電圧変動が規定値内であることを確認する。 ② 運転電流が定格以下であることを確認する。	1Y 1Y	

表2.3.5.8 電気温水器

点検項目	点検内容	周期	備考
1.固定部	固定金具及び固定ボルトの緩み、変形、腐食等の有無を点検する。	1Y	
2.外観の状況	① 外筒の汚れ、詰まり等の有無を点検する。 ② 腐食、さび等の有無を点検する。 ③ 内筒の湯垢の付着の有無を点検する。	1Y 1Y 1Y	

表2.3.5.9 循環ろ過装置

点検項目	点検内容	備考
1.ろ過装置	① 外観及び内部の損傷、腐食等の有無を点検する。 ② 配管の変形、腐食、損傷等の有無を点検する。 ③ 弁類の作動の良否を点検する。 ④ 圧力計の指示値が正常であること及び適正に作動することを確認する。 ⑤ 逆洗浄によりろ材の洗浄を行い、劣化の有無を点検する。	
2.熱交換器	① 変形、腐食、損傷等の有無を点検する。 ② 入口出口温度が適正であることを確認する。 ③ 弁類の作動の良否を点検する。 ④ サーモスタットが設定値で作動することを確認する。	
3.薬注装置	① 薬液の注入動作が適正であることを確認する。 ② ノズル等の詰まりの有無を点検する。 ③ 薬液タンクの劣化の有無を点検する。	
4.ろ過ポンプ a.本体	① 腐食、損傷及び漏洩の有無を点検する。 ② ポンプの吸込圧力及び吐出圧力が許容範囲内にあることを確認する。	

b.電動機	① 発熱及び異常音の有無を点検する。 ② 回転方向が正しいことを確認する。 ③ 絶縁抵抗を測定し、その良否を確認する。 ④ 運転電流が、定格値以下であることを確認する。	
5.ヘアーキャッチャー	① 変形、腐食、損傷等の有無を点検する。 ② 弁類の作動の良否を点検する。	
6.制御盤	① 温度調節器、運転タイマー、安全装置等が設定値で作動することを確認する。 ② 漏電遮断器の動作確認を行う。	
7.制御装置	① リミットスイッチ、開閉機構等が、規定値で作動することを確認する。 ② 絶縁抵抗を測定し、その良否を確認する。	
8.水質検査	濁度、過マンガン酸カリウム、大腸菌群及びレジオネラ属菌の検査を行う。	・毎日完全換水型の場合は1Yとする。

表2.3.6.1 ダクト

点検項目	点検内容	周期	備考
1.ダクト	① 裸ダクトの場合は、塗装の剥離及び鉄板の腐食、損傷等の有無を点検する。 ② 変形の有無を点検する。 ③ 保温材の剥離、損傷等の有無を点検する。	1Y 1Y 1Y	
2.ダンパー	① 作動の良否を点検する。 ② 損傷、異常音、異常振動等の有無を点検する。	1Y 1Y	
3.接続部	① 空気漏れの有無を点検する。 ② ボルトの緩み、欠落、損傷等の有無及びガスケットのずれ、損傷等の有無を点検する。	1Y 1Y	
4.たわみ継手	固定部の緩みの有無を点検する。	1Y	
5.吊り及び支持金物	① 腐食、変形等の有無を点検する。 ② 緩みの有無及び取付けの良否を点検する。	1Y 1Y	
6.防火区画貫通処理部	き裂、欠落等の有無を点検する。	1Y	
7.吹出口・吸込口	① 汚れの有無を点検する。 ② 取付け部の緩みの有無を点検する。 ③ 塗装の剥離、腐食、変形等の有無を点検する。	1Y 1Y 1Y	